

株主の皆様へ

2022年4月期

2021年5月1日～2022年4月30日

目次

ごあいさつ	P1
営業の概況	P2
特集	P3
TOPICS	P5
会社情報/株式の状況	P6



ごあいさつ



代表取締役社長
執行役員
本庄 大介

株主の皆様には、平素より格別のご愛顧とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。ここに、伊藤園グループの2022年4月期(2021年5月1日から2022年4月30日まで)の概況をご報告いたします。

2022年4月期の取組みについて

2022年4月期における日本経済は、新型コロナウイルス感染症拡大やロシア・ウクライナ情勢の影響により、引き続き厳しい状況となりました。個人消費におきましても、持ち直しの動きが見られるものの、今後も先行き不透明な状態が続くと想定されます。飲料業界におきましても、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う活動制限や在宅勤務の増加といったライフスタイルの変化に加え、夏場の天候不順の影響もあり、事業環境は1年を通して厳しい状況が続きました。

このような状況の中、当社グループは経営理念であります「お客様第一主義」のもと、当社グループを取り巻く全てのお客様に対し「今でもなお、お客様は何を不満に

思っているのか」を常に考え、一丸となって積極的な事業活動を行ってまいりました。

リーフ・ドリンク関連では、本年3月、新宿タカシマヤタイムズスクエア地下1階に日本茶を中心とした専門店『伊藤園』高島屋新宿店をオープンしました。本店舗はリーフ(茶葉)製品や上質な抹茶製品、ティーバッグ製品など、当社が厳選した日本茶を中心に30種類ほど取揃えています。また同月、阪神百貨店梅田本店地下2階に喫茶タイプのテイクアウト店舗『茶寮 伊藤園』をオープンしました。本店舗は、日本茶をはじめ、国産紅茶、ルイボスティ、抹茶の魅力を追求したオリジナルドリンクやスイーツを提供しています。当社はこれらの店舗出店を通じて、お茶の魅力を多くの方に伝えることで、お茶と伊藤園ブランドのさらなる価値向上を図ってまいります。

「お〜いお茶」ブランドでは、2022年品質の「お〜いお茶 緑茶」を発売しました。“お〜いお茶のおいしさの秘密”から生まれた同製品は、ゴクゴク飲めるスッキリした味わいととも、飲んだ後に落ち着きを感じられる爽やかな喉越しの香りを高めています。現在本格導入を目指している生葉や荒茶の品質をAIによる画像分析で確認する技術などの新しい取組みを加えながら、当社はこれからも真剣にお茶と向き合い、お客様が求める味、香り、色の「お〜いお茶」とお茶が持つさまざまな可能性“お茶のチカラ”を世界中に届けてまいります。また、「健康ミネラルむぎ茶」ブランドからは4月、やわらかな香りとお茶のチカラが特徴で、ミネラルも摂取できる麦茶飲料「健康ミネラルむぎ茶 オーツ麦ブレンド」を発売し、2~4月にかけては、全国農業協同組合連合会(JA全農)が推進する国内

農業支援の取組み「ニッポンエールプロジェクト」共同開発飲料製品として4品発売しました。

タリーズコーヒージャパン(株)では、2月より『トムとジェリー』とのコラボレーション商品を発売し、話題となりました。また、お好みのコーヒー豆を購入して自宅でリラックスしながら楽しむ「お家カフェ」のニーズが引き続き高く、自宅でのカフェタイムを盛り上げるビーンズ類などもご好評をいただきました。本年4月末時点の総店舗数は760店舗となっております。

この結果、2022年4月期の業績は、売上高4,007億69百万円※、営業利益187億94百万円(前期比12.7%増)、経常利益199億71百万円(前期比17.3%増)となり、親会社株主に帰属する当期純利益129億28百万円(前期比84.4%増)となりました。

伊藤園グループは、「お客様の健康で豊かな生活と持続可能な社会を実現すること」を社会における使命として「健康創造企業」を掲げています。今後も積極的に事業活動に取り組むとともに、No.1緑茶飲料ブランドとして選ばれ続けてきた「お〜いお茶」を中心に、「世界のティーカンパニー」に向けて持続的な成長を図り、唯一無二の永続企業を目指してまいります。

※ 2022年4月期より、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号-2020年3月31日)等を適用しており、2022年4月期に係る数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。売上高に大きな影響が生じるため、売上高の対前期増減率は記載しておりません。



営業の概況

伊藤園(単独)の売上は、3,003億19百万円となりました。

カテゴリー別のドリンク販売数量は以下のとおりです。

	実績 (万ケース)	構成比 (%)	増減率 (%)
飲料(ドリンク)	21,525	100	△0
茶系飲料	14,928	69	△0
日本茶	13,589	63	+3
中国茶	868	4	△26
その他	470	2	△7
野菜飲料	2,937	14	△10
コーヒー飲料	1,664	8	+11
ミネラルウォーター	664	3	+1
炭酸飲料	401	2	+6
その他飲料	928	4	+8

2022年4月期のグループ会社実績は以下のとおりです。

		(単位:百万円)	
国内グループ	売上高	90,390	
	営業利益	2,249	
タリーズコーヒー	売上高	30,060	
	営業利益	860	
チチャス	売上高	11,844	
	営業利益	734	
海外グループ	売上高	41,927	
	営業利益	1,472	
米国事業	売上高	36,771	
	営業利益	555	
		323,156千米ドル*	
その他海外事業	売上高	5,155	
	営業利益	917	
連結消去	売上高	△31,867	
	営業利益	△613	

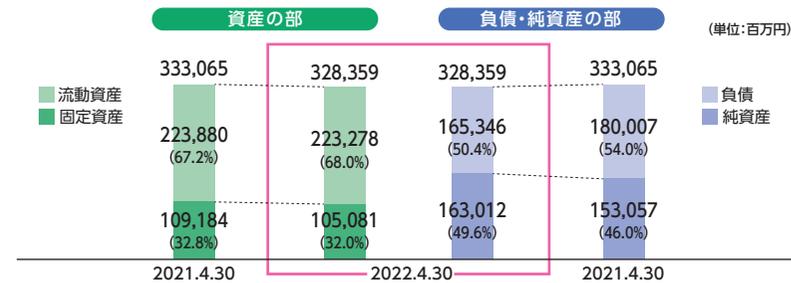
* 為替レート 1米ドル=113.79円(期中平均)

連結損益計算書(要約)

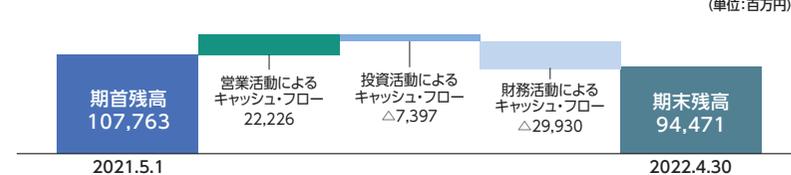
	2021年4月期 2020年5月1日～ 2021年4月30日	2022年4月期 2021年5月1日～ 2022年4月30日	増減率
売上高	446,281	400,769	—*
売上原価	231,278	241,188	—*
売上総利益	215,003	159,581	—*
販売費及び一般管理費	198,327	140,787	—*
営業利益	16,675	18,794	12.7%
経常利益	17,029	19,971	17.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	7,011	12,928	84.4%

*2022年4月期より収益認識基準を適用しています。これにより大きな影響が生じる項目は増減率を記載していません。

連結貸借対照表(要約)



連結キャッシュ・フロー計算書(要約)



(注)現金及び現金同等物に係る換算差額については記載を省略しています。それにより生じるグラフの誤差については調整しています。

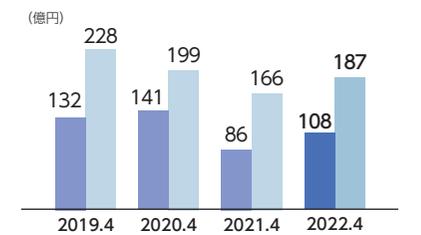
1株当たり配当金

		2021年4月期		2022年4月期	
		普通株式	優先株式	普通株式	優先株式
1株当たり配当金(円)	中間	20	25	20	25
	期末	20	25	20	25
	年間	40	50	40	50

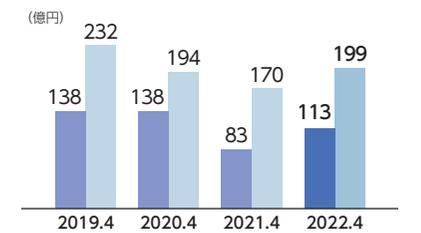
売上高



営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益



新・中長期経営計画と7つのマテリアリティを連動させ、 長期ビジョン「世界のティーカンパニー」を目指します

伊藤園グループはお茶のスペシャリストとして世界の茶文化とつながり、おいしさと価値を広く伝えていく「世界のティーカンパニー」を長期ビジョンに掲げています。この長期ビジョンに向けた成長戦略として、3つの柱「グローバル」「価値創造」「ユニーク」を、新・中長期経営計画の策定にあたり新たに設定しました。さらに、外部環境の変化に対応するため、新たに7つのマテリアリティも特定しました。3つの成長戦略を軸に新・中長期経営計画と相互に連動させ「世界のティーカンパニー」を目指します。

長期ビジョンに向けた3つの成長戦略

グローバル

世界中で飲まれている茶を進化させ、世界中の人々の心身ともに健やかな生活を支える。

価値創造

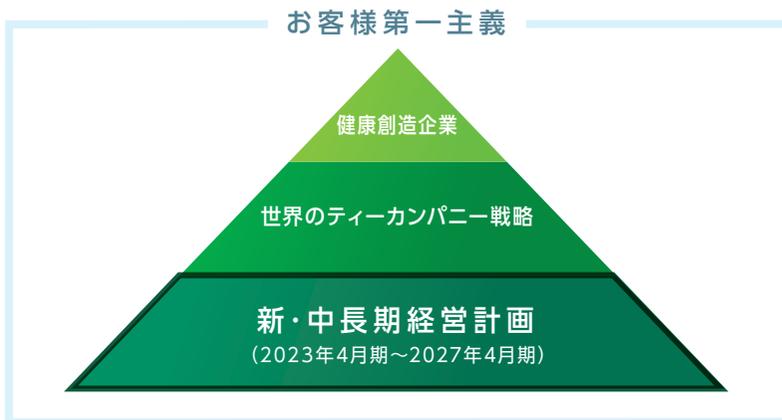
茶で培った知見を活かし、健康と持続可能な社会に貢献する価値を創出する。

ユニーク

農業から資源循環まで、伝統と先端技術を融合させる独自性のある唯一無二の企業に。

新・中長期経営計画 (2023年4月期～2027年4月期)

伊藤園グループは経済・社会が激変するなか、同様に変化し続ける事業環境に適応し、すべてのお客様からのご期待に応えていくため、新たな中長期経営計画を策定しました。



事業投資 (5年間累計キャッシュフロー)			
キャッシュイン	営業キャッシュフロー	1,500億円以上	
キャッシュアウト	事業投資	700億円	有利負債の返済 400億円
	株主還元	350億円以上	

5つの重点戦略

国内既存事業の盤石化

- 国内で圧倒的No.1ティーカンパニーの地位を確立
- 健康訴求を中心としたブランド価値の向上、お客様との接点強化

経営基盤の強化

- 伊藤園グループのシナジー強化
- 人材育成、研究開発、DXの強化推進

「お〜いお茶」のグローバル化

- 「お〜いお茶」を米国や中国をはじめとする各国の食文化との融合により日常生活へ浸透

サステナビリティ経営の推進

- 伊藤園らしい事業活動を通じた、消費者、地域社会、農業、地球環境の課題解決への貢献
- 100年企業に向けた持続的な成長

新たな事業の創出

- 食や生活への新しい価値の提供
- 茶の機能性、茶事業で培った技術や繋がり活用の活用

定量目標

成長に対する考え方

- 収益性重視
- 利益・シェア向上のための持続的成長
- 株主資本利益率の向上

2022年4月期	
営業利益率	4.7%
ROE	8.2%
総還元性向	44.5%
海外売上比率	10%



2025年4月期	
営業利益率	6%
ROE	10%以上
総還元性向	40%維持
海外売上比率	11%以上



2027年4月期	
営業利益率	7%
ROE	10%以上
総還元性向	40%維持
海外売上比率	12%以上

連結売上高の
5カ年平均伸長率
3%以上

7つのマテリアリティ (重要課題)

伊藤園グループが新たに策定した中長期経営計画に合わせマテリアリティの見直しを行い、新たに7つのマテリアリティを特定しました。

マテリアリティ (重要課題)	取組みテーマ	主な取組みと指標 (KPI)	
 食生活と健康への貢献	人生100年時代に向けた研究開発	<ul style="list-style-type: none"> 産官学の連携による研究の推進を通じて機能性素材の継続的な開発と健康的な食習慣に貢献 	
	生活者の健康ニーズと多様化するライフスタイルへの貢献	<ul style="list-style-type: none"> 健康機能を有する製品ポートフォリオの拡充 	指標 (KPI) <ul style="list-style-type: none"> 特保・機能性表示食品の売上構成比 2026年度 30%以上 海外売上比率 12%以上
	製品の安全・安心品質の追求と環境負荷低減	<ul style="list-style-type: none"> 製品ライフサイクルを通じた品質管理と環境負荷の低減 	
 持続可能な国内農業への貢献	世界に通用する独自の農業モデルの進化	<ul style="list-style-type: none"> 茶産地育成事業の拡大と耕作放棄地の農地への転換 	指標 (KPI) <ul style="list-style-type: none"> 茶産地育成事業展開面積目標 2030年度 2,800ha
		<ul style="list-style-type: none"> 減農薬、有機栽培の技術開発とアグリテックの推進により、農業の社会環境課題解決に貢献 	
 環境	気候変動	<ul style="list-style-type: none"> 事業活動全体でのCO₂排出量削減(基準年2018年度対比) TCFD提言に基づく分析と開示 	指標 (KPI) <ul style="list-style-type: none"> Scope1+2 2030年度 50%削減 Scope3 2030年度 20%削減 Scope1~3 2050年カーボンニュートラル
	水資源	<ul style="list-style-type: none"> 生産活動における水使用量削減(基準年2018年度対比) 	指標 (KPI) <ul style="list-style-type: none"> 2030年度 水使用量原単位(※) 16%削減 (※)原単位:生産1kl当りの水使用量
	持続可能な容器包装	<ul style="list-style-type: none"> ペットボトルに使用するリサイクル材等(生物由来素材を含む)の使用率向上 	指標 (KPI) <ul style="list-style-type: none"> リサイクル素材等使用率 2025年度 お〜いお茶100% 2030年度 全ペットボトル製品100%
	生物多様性	<ul style="list-style-type: none"> 環境保全型農業の推進 生物多様性リスクの調査 	指標 (KPI) <ul style="list-style-type: none"> GAP認証の維持・運用
	廃棄物の削減/資源循環の推進	<ul style="list-style-type: none"> 食品リサイクル率の向上 製品廃棄の削減、茶殻を有効資源としてアップサイクル 	指標 (KPI) <ul style="list-style-type: none"> 食品リサイクル率 伊藤園:90%以上を維持 タリーズコーヒージャパン:2026年度 50%以上
 地域社会・コミュニティとのつながりの深化	お茶を通じたつながりの創出	<ul style="list-style-type: none"> 食育活動等による急須文化の伝承とコミュニティの活性化 	
	地域社会との共創	<ul style="list-style-type: none"> 自治体との連携による「お茶のある暮らし」プロジェクトの推進 	
 持続可能なサプライチェーンへの貢献	持続可能なサプライチェーンの構築	<ul style="list-style-type: none"> サプライヤーとの協働による、サプライヤー関連方針に基づく社会環境課題に配慮した調達活動の推進 	
 多様な人財と全員活躍の推進	人権尊重の取組推進	<ul style="list-style-type: none"> 「伊藤園グループ人権方針」に基づく取組みの推進 	
	多様な人材の育成と活躍推進	<ul style="list-style-type: none"> 女性管理職比率 障がい者雇用率 	
	健康経営の推進	<ul style="list-style-type: none"> 「健康経営優良法人」の継続認定 	
 コーポレート・ガバナンス	サステナビリティ経営の推進	<ul style="list-style-type: none"> サステナビリティ重要課題の取組み推進と監督機能の強化 ステークホルダーダイアログの実施 	
	DXの推進	<ul style="list-style-type: none"> デジタル化による業務改革、生産性の向上の推進 	
	グループリスク管理の強化	<ul style="list-style-type: none"> グループガバナンスおよびリスクマネジメント体制の再構築と管理の強化、継続的な改善 	

今後、各テーマで指標(KPI)を設定し、PDCAで管理・評価を行い、定期的に見直しをしていく予定です。



新・中長期経営計画と7つのマテリアリティの詳細につきましては、当社ニュースリリース(QRコードまたは下記URL)をご覧ください。
<https://www.itoen.co.jp/news/article/36509/>

TOPICS

環境対応の取り組み

コーヒー豆の皮“シルバースキン※”を配合した「シルバースキン配合紙ストロー」を開発

当社が展開する直営店やグループ会社のタリーズコーヒージャパン(株)が運営するスペシャルティコーヒーショップ「タリーズコーヒー」の一部店舗で2022年5月より導入を開始しました。

「シルバースキン配合紙ストロー」は、コーヒー豆を焙煎しているタリーズコーヒーロースティングファクトリー(当社「静岡相良工場」内のコーヒー豆焙煎工場)で排出したシルバースキンを、当社の茶殻リサイクルシステムで培った特許技術をもとにアップサイクルして開発した紙製ストローです。「水に強く(耐水性)」「飲み物の風味を損なわない」製品設計を実現しました。ストロー2本でコーヒー約1杯分のシルバースキンを使用しており、「シルバースキンの素材感を活かした色合い」も特長です。

今後も、植物の機能性を利用した製品作りや環境にやさしい製品の研究開発を通じて、持続可能な社会の実現に向けて取り組んでまいります。



シルバースキン



シルバースキン配合紙ストロー

※シルバースキンとは、コーヒー生豆を焙煎する工程で取り除かれる薄い種皮のことです。



25周年アニバーサリーハッピーバッグを発売

皆様に支えられ、タリーズコーヒーは今年で25周年を迎えました。アニバーサリーハッピーバッグは2012年の15周年より展開しており、毎年楽しみにしているお客様がいらっしゃるアイテムです。今年のアニバーサリーハッピーバッグは“Many Thanks”“Coffee is Our Passion”をテーマに、お客様への感謝とスペシャルティな味わいをお届けします。限定のコーヒー豆や、アニバーサリーハッピーバッグだけのアイテム、25周年デザインの「ベアフル ダブルグラス」などが入った、特別なセットです。

注:店舗によって販売状況が異なります。



25周年アニバーサリーハッピーバッグ ¥6,000(税込)

研究・技術

伊藤園と富士通(株)、AI画像解析による茶葉の摘採時期判断技術を開発

本技術は、伊藤園の茶栽培に関する知見と富士通(株)の画像解析技術およびAIの機械学習を組み合わせることで共同開発した画像認識アルゴリズムにより、スマートフォンで撮影した摘採(収穫)前の茶葉の画像をクラウド上でAI解析して、摘採時期の判断指標となるアミノ酸量や繊維量を推定するものです。2022年の新茶摘採から本技術の試験運用を開始し、画像認識アルゴリズムの正確性や実用性を検証しています。

伊藤園と富士通(株)は、茶葉の摘採時期を簡単に判断できる本技術の確立に向けて協働し、2023年の新茶摘採から契約産地で本格展開を目指します。今後も、安心・安全で高品質な緑茶原料の安定生産、茶生産者の労務負担軽減や品質の向上に寄与する技術開発などにより、持続可能な農業の推進に貢献します。



生葉撮影イメージ



容器包装の取り組み

「お〜いお茶」ブランドで採用する2Lペットボトルを軽量化。国内で流通する緑茶飲料2Lペットボトルのなかで最軽量に

当社は「伊藤園グループ プラスチックに関する方針」のもと、「お〜いお茶」ブランドの2Lペットボトル製品を対象に、従来比約26%の軽量化となるボトル重量28.7gへと削減した軽量化ボトル「環境配慮型ペットボトル」を導入し、2022年5月から全国展開を順次開始しています。この「環境配慮型ペットボトル」の導入により、プラスチック使用量を年間で約1,400トン削減し、CO₂排出量を年間で約2,700トン削減※することが可能となります。

当社は、今後も容器包装の使用量削減をはじめとした省資源化に取り組むことで、持続可能な社会・環境の実現に貢献してまいります。

※2021年度の販売実績に基づく試算

環境配慮型ペットボトル



従来比
約26%軽量化
ボトル重量
28.7g
※1本あたり

会社情報 / 株式の状況

会社の概要 (2022年4月30日現在)

会社名	株式会社 伊藤園
英文社名	ITOEN, LTD.
本社	東京都渋谷区本町三丁目47番10号
設立	1966年8月22日
資本金	19,912,300,000円
従業員数	5,175名
URL	https://www.itoen.co.jp
支店、営業所及び出張所	全国29地区186拠点
店舗	全国110店舗
工場	静岡相良工場 (静岡県牧之原市女神21) 神戸工場 (兵庫県神戸市西区見津が丘5-4-2) 浜岡工場 (静岡県御前崎市新野3406-4) 福島工場 (福島県福島市荒井北1-2-9) 沖縄名護工場 (沖縄県名護市伊差川112)
研究所	中央研究所 (静岡県牧之原市女神21)

役員 (2022年7月28日現在)

代表取締役会長	本庄 八郎
代表取締役社長 執行役員	本庄 大介
代表取締役副社長 執行役員	本庄 周介
取締役副会長 執行役員	渡辺 實
取締役 専務執行役員	中野 悦久
取締役 専務執行役員	神谷 茂
取締役	ヨクスケ ジェイ オシャンブライト ホンジョウ Yosuke Jay Oceanbright Honjo
取締役 専務執行役員	平田 篤
社外取締役	田口 守一
社外取締役	臼井 祐一
社外取締役	田中 豊
社外取締役	高野 秀夫
社外取締役	阿部 啓子
常勤監査役	中込 修二
社外監査役	高澤 嘉昭
社外監査役	宮嶋 孝
社外監査役	横倉 仁

株式の状況 (2022年4月30日現在)

発行可能株式総数		200,000,000 株
発行済株式の総数	普通株式	89,212,380 株
	優先株式	34,246,962 株
株主数	普通株式	49,566 名
	優先株式	64,183 名

所有者別株式数比率



(注) 自己株式は、「個人・その他」に含めて記載しております。

大株主 (2022年4月30日現在)

普通株式		
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
グリーンコア株式会社	17,603	19.73
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	9,989	11.20
公益財団法人本庄国際奨学財団	5,200	5.83
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー 505223	5,058	5.67
本庄 八郎	2,446	2.74
東洋製罐グループホールディングス株式会社	1,955	2.19
株式会社りそな銀行	1,933	2.17
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,882	2.11
伊藤園従業員持株会	1,874	2.10
ザバンクオブニューヨークメロン(インターナショナル) リミテッド 131800	1,811	2.03

優先株式		
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
グリーンコア株式会社	5,895	17.21
ザバンクオブニューヨーク 134104	3,304	9.65
公益財団法人本庄国際奨学財団	1,560	4.56
株式会社伊藤園 自己名義	1,487	4.34
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー 505025	1,109	3.24
本庄 八郎	882	2.58
ザバンクオブニューヨーク 134105	720	2.10
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー 505012	445	1.30
ゴールドマン・サックス・アンド・カンパニー レギュラーアカウント	434	1.27
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE TOWERS WATSON COMMON CONTRACTUAL FUND(TTF)	373	1.09

優先株式について

優先株式とは、普通株式に比べて利益の配当等を優先的に受け取ることができる株式です。

概要

	優先株式	普通株式
証券コード	25935	2593
議決権	なし ^(注1)	あり
配当	優先配当 普通配当額×125% ^(注2) 未払い分は累積	普通配当 累積しない
残余財産分配権	普通株式と同等 ^(注3)	—
普通株式への転換権	株主の意向による転換権はなし ^(注4)	—
単元株	100株	
株主優待	あり	

(注1) 議決権が発生する場合があります。

(注2) 小数第一位を切り上げ、ただし15円を下限とします。また普通株式への配当が無配の場合でも、優先株式に対して1株当たり15円が優先配当として支払われます。

(注3) 累積未払配当がある場合は、普通株式に先立って優先株主に不足分が支払われます。

(注4) 一定の事象により当社が普通株式を対価として、1:1の比率で優先株式を取得することがあります。

【一定の事象】

- 当社が消滅会社となる合併、完全子会社となる株式交換、株式移転(当社単独によるものを除きます)。
- 当社普通株式に対する公開買付により公開買付者の株券等所有割合が50%超となった場合。
- 当社優先株式が上場廃止となった場合。

単元未満株式(1~99株)をご所有の株主様へ

当社では、普通株式・優先株式ともにご所有の株式の買取りの請求、または買増しの請求をしていただくことができる制度を導入しております。単元未満株式をご所有で、株式の売却、または買増しをご検討の株主様は、是非ご利用ください。

- 具体的なお手続きに関するご照会は、お取引先の証券会社等にお問い合わせください。
- 特別口座を開設された株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。(裏表紙参照)

株式に関する「マイナンバー」制度のご案内

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係手続きが必要となります。このため、株主様から、マイナンバーをお取引先の証券会社等へお届出ください。

<マイナンバーのお届けに関するお問い合わせ先>

証券口座にて株式を管理されている株主様	証券会社とお取引がない株主様
お取引先の証券会社までお問い合わせください。	下記フリーダイヤルまでお問い合わせください。
	三井住友信託銀行株式会社
	証券代行部 ☎ 0120-782-031

第57回定時株主総会決議ご通知

2022年7月28日開催の当社第57回定時株主総会において、下記のとおり報告ならびに決議されましたので、ご通知申し上げます。

報告事項

- 第57期（2021年5月1日から2022年4月30日まで）事業報告及び計算書類の報告の件
- 第57期（2021年5月1日から2022年4月30日まで）連結計算書類の報告ならびに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件

決議事項

- 第1号議案 剰余金の処分の件
 第2号議案 定款一部変更の件
 第3号議案 取締役13名選任の件

※議案の詳細につきましては、当社ウェブサイトに掲載している「第57回定時株主総会招集ご通知」をご参照ください。
<https://www.itoen.co.jp/ir/schedule/meeting/> 以上

株式に関するお手続きについて

株式に関するお手続きは、1.証券会社の口座に記録されている場合と、2.特別口座に記録されている場合で、下記のとおり異なりますので、該当の窓口にお問い合わせください。

		お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先	
1.	証券会社の口座に記録された株式	<ul style="list-style-type: none"> 郵送物の発送と返戻に関するご照会 支払期間経過後の配当金に関するご照会 株式事務に関する一般的なお問い合わせ 	株主名簿 管 理 人	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 ☎0120-782-031
		<ul style="list-style-type: none"> 上記以外のお手続き、ご照会等 		口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
2.	特別口座に記録された株式	<ul style="list-style-type: none"> 郵送物の発送と返戻に関するご照会 支払期間経過後の配当金に関するご照会 株式事務に関する一般的なお問い合わせ 	株主名簿 管 理 人	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 ☎0120-782-031
		<ul style="list-style-type: none"> 特別口座から一般口座への振替請求 単元未満株式の買取・買増請求 届出住所・氏名等のご変更 配当金の受領方法・振込先のご変更 	特別口座の 口座管理機関	

INFORMATION

ご優待制度のご案内

伊藤園グループでは、株主様の日頃のご支援とご愛顧に感謝いたしまして、株主様へのご優待を行っています。毎年4月30日現在の株主名簿に記録された1単元(100株)以上を保有している株主の方に対し、年1回、普通株式または優先株式のそれぞれの保有株式数に応じ、自社製品詰め合わせを贈呈いたします。

100株以上1,000株未満



1,500円
相当



1,000株以上



3,000円
相当



ご優待の内容

- 自社製品の詰め合わせ
- 株主様限定
伊藤園通信販売「健康体」のパンフレット

※画像は2021年にお送りしたご優待品です。 ※製品の内容は変更となる場合がございます。
 ※普通株式と優先株式の2種類の株式を保有している場合には、その合計株式数ではありません。

2022年のご優待品は、7月下旬～8月上旬にかけてお送りしております。

株主メモ

事業年度	毎年5月1日から翌年4月30日まで
定時株主総会	毎年7月下旬
基準日	定時株主総会・期末配当金 4月30日 中間配当金 10月31日
株主名簿管理人及び特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
電話照会先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 ☎0120-782-031
公告掲載方法	電子公告により行います。 (URL: https://www.itoen.co.jp) なお、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
お問い合わせ先	株式会社伊藤園 広報部 電話 03-5371-7205 受付時間: 10:00～16:00